

都市消防委員会
説明資料

平成29年3月16日

消防局

目 次

	頁
1 予算編成の基本的な方針等について.....	1
(1) 予算編成方針.....	1
(2) 重点対応施策.....	1
(3) 行財政改革の取り組み.....	1
2 女性消防官について.....	2
(1) 配置状況.....	2
(2) 育児休業取得者数.....	2
(3) 主な政令指定都市及び東京消防庁の状況.....	3
3 新規採用消防官の養成に係る予算の内訳について.....	3
4 消防団について.....	4
(1) 基本消防団員の充足状況.....	4
(2) 基本消防団員の年齢構成.....	5
(3) 大学生消防団員の実員状況.....	7
(4) 基本消防団員の階級別出場状況等.....	8
(5) 基本消防団員の出場手当支給回数.....	8
5 スタンドパイプ初期消火資器材について.....	9
(1) 構成.....	9
(2) 予算の内訳.....	10
(3) 消火器との性能比較.....	10
【参考】震災に強いまちづくり方針に掲げる主な木造住宅密集地域.....	11
6 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣について.....	11
7 査察実施状況等について.....	12
(1) 行政区別査察実施状況等.....	12
(2) 警告による不備改善状況.....	13
(3) 長期間査察を実施していない防火対象物.....	14

8	防火管理者の選任状況について.....	15
9	防火優良認定及びホテル・旅館等適マークについて.....	16
	(1) 防火優良認定.....	16
	(2) ホテル・旅館等適マーク.....	17
10	火薬類取締法及び高圧ガス保安法の権限移譲について.....	18
	(1) 法律の概要.....	18
	(2) 危険物との比較.....	18
11	消防隊の出動状況について.....	19
12	救急隊の出動状況等について.....	20
	(1) 高齢者の搬送状況.....	20
	(2) 主な政令指定都市の平均現場到着時間及び平均病院収容時間.....	20
13	名古屋駅周辺の救急隊について.....	21
	(1) 配置状況.....	21
	(2) 出動件数.....	21
14	市民によるAEDの使用状況等について.....	22
	(1) 119番通報受信時の案内件数.....	22
	(2) 使用件数等.....	22
15	ヘリコプターについて.....	23
	(1) 主な性能.....	23
	(2) 主な装備.....	24
	(3) 出動回数.....	24

1 予算編成の基本的な方針等について

(1) 予算編成方針

- ・ 災害に強く安全に暮らせるまちづくりのため、「名古屋市総合計画 2018」に掲げられた施策の実現及び消防局経営方針における「重点施策」の展開に必要な予算の確保を図る。
- ・ 事業の優先性等を考慮し、その廃止又は見直しを実施することにより、歳出削減を図るとともに、引き続き新たな歳入の確保を検討する。

(2) 重点対応施策

- ・ 地域防災力のさらなる強化
- ・ 救急救命体制の充実
- ・ 消防団の活性化

(3) 行財政改革の取り組み

ア 内部管理事務の見直し

内 訳	金 額 (千円)
消防庁舎等の維持補修費	83,716
車両管理事務経費	6,964
その他の内部管理事務経費	19,452
合 計	110,132

イ 歳入の確保

内 訳	金 額 (千円)
駐車場貸付け料 (契約変更による増額)	5,649
消防団加入促進事業費補助金 (県 費 補 助)	1,000
合 計	6,649

2 女性消防官について

(1) 配置状況

区 分		平成 2 7 年 度 (人)	平成 2 8 年 度 (人)
消 防 局		1 0	6
消 防 署	総 務 課	5	6
	予 防 課	1 6	2 0
	消防第一（第二）課	1 5	1 4
合 計		4 6	4 6

注 各年度とも4月1日現在の数値である。

(2) 育児休業取得者数

区 分	人 数
平成 2 7 年 度	4
平成 2 8 年 度	6

注 各年度とも4月1日現在の数値である。

(3) 主な政令指定都市及び東京消防庁の状況

平成28. 4. 1現在

区 分	全 消 防 官 (人)	女 性 消 防 官 (人)	女性消防官の割合 (%)
名古屋市	2, 263	46	2. 0
横浜市	3, 415	126	3. 7
京都市	1, 770	67	3. 8
大阪市	3, 498	113	3. 2
神戸市	1, 534	54	3. 5
東京消防庁	18, 666	1, 192	6. 4

3 新規採用消防官の養成に係る予算の内訳について

区 分	予 算 額 (千円)
人 件 費	319, 216
消 耗 品 費	1, 453
備 品 購 入 費	1, 228
そ の 他 の 経 費	598
合 計	322, 495

4 消防団について

(1) 基本消防団員の充足状況

平成28.4.1現在

区 分	定 員 (人)	実 員 (人)	充 足 率 (%)
千 種	375	304 (31)	81.1
東	225	207 (21)	92.0
北	475	411 (19)	86.5
西	475	380 (24)	80.0
中 村	450	385 (15)	85.6
中	275	221 (21)	80.4
昭 和	275	232 (32)	84.4
瑞 穂	275	223 (26)	81.1
熱 田	175	157 (13)	89.7
中 川	625	510 (38)	81.6
港	670	547 (37)	81.6
南	450	392 (32)	87.1
守 山	475	415 (10)	87.4
緑	700	557 (24)	79.6
名 東	475	395 (23)	83.2
天 白	425	379 (20)	89.2
全 市	6,820	5,715 (386)	83.8

注 実員欄の()内の数値は、女性消防団員数を内数で示す。

(2) 基本消防団員の年齢構成

区 分	20歳未満 (人)	20歳以上 30歳未満 (人)	30歳以上 40歳未満 (人)	40歳以上 50歳未満 (人)
千 種	0	8 (1)	27 (5)	64 (10)
東	3 (2)	2 (0)	21 (0)	44 (4)
北	1 (0)	8 (0)	18 (2)	92 (4)
西	0	8 (1)	24 (0)	106 (6)
中 村	1 (0)	12 (1)	29 (2)	103 (0)
中	0	6 (1)	15 (4)	46 (6)
昭 和	0	9 (2)	20 (0)	48 (7)
瑞 穂	1 (0)	9 (2)	25 (1)	49 (7)
熱 田	0	3 (0)	10 (1)	48 (4)
中 川	0	11 (1)	48 (0)	141 (11)
港	0	25 (2)	68 (2)	164 (7)
南	2 (0)	13 (1)	35 (4)	85 (8)
守 山	1 (0)	6 (0)	35 (0)	100 (5)
緑	0	29 (4)	88 (4)	171 (9)
名 東	0	10 (0)	33 (3)	90 (6)
天 白	2 (0)	19 (2)	38 (4)	87 (2)
合 計	11 (2)	178 (18)	534 (32)	1,438 (96)

注 () 内の数値は、女性消防団員数を内数で示す。

平成28. 4. 1現在

50歳以上 60歳未満 (人)	60歳以上 70歳未満 (人)	70歳以上 80歳未満 (人)	80歳以上 (人)	合計 (人)
74 (4)	99 (11)	32 (0)	0	304 (31)
60 (13)	61 (2)	16 (0)	0	207 (21)
128 (9)	121 (4)	43 (0)	0	411 (19)
107 (9)	129 (8)	6 (0)	0	380 (24)
123 (6)	97 (6)	20 (0)	0	385 (15)
62 (8)	74 (2)	17 (0)	1 (0)	221 (21)
69 (12)	68 (10)	18 (1)	0	232 (32)
58 (10)	69 (6)	12 (0)	0	223 (26)
34 (4)	45 (4)	17 (0)	0	157 (13)
168 (21)	128 (5)	13 (0)	1 (0)	510 (38)
165 (13)	120 (13)	5 (0)	0	547 (37)
111 (8)	119 (9)	27 (2)	0	392 (32)
115 (4)	122 (1)	35 (0)	1 (0)	415 (10)
153 (6)	108 (1)	8 (0)	0	557 (24)
120 (5)	123 (7)	19 (2)	0	395 (23)
126 (7)	95 (5)	11 (0)	1 (0)	379 (20)
1,673 (139)	1,578 (94)	299 (5)	4 (0)	5,715 (386)

(3) 大学生消防団員の実員状況

平成28.4.1現在

区 分	実 員 (人)	
	中 京 大 学 分 団	名 古 屋 市 立 大 学 分 団
2 年 生	12 (0)	6 (6)
3 年 生	8 (0)	15 (6)
4 年 生	5 (0)	4 (3)
合 計	25 (0)	25 (15)

注 実員欄の () 内の数値は、女性消防団員数を内数で示す。

(4) 基本消防団員の階級別出場状況等

区 分	平均 出 場 回 数 (回)		平均 支 給 回 数 (回)	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
団 長	91.0	86.6	62.5	23.4
副 団 長	57.5	52.1	41.3	15.6
部 長	48.7	44.4	35.1	13.7
班 長	37.8	34.1	27.0	10.9
団 員	26.1	23.1	18.9	7.5

(5) 基本消防団員の出場手当支給回数

区 分	活 動 内 容	平成26年度 (回)	平成27年度 (回)
災害対応	火災、救助、警戒 及び救急出動	5,661	5,290
非常配備	災 害 待 機	3,344	115
警戒警備	災害対応以外の警戒活動	703	21,546
訓練指導	自主防災訓練等	12,996	15,532
教養訓練	団 員 教 養 等	37,378	21,845
火災予防	火災予防運動広報等	89,366	—
そ の 他	各種会議、器具手入等	10,766	—
合 計		160,214	64,328

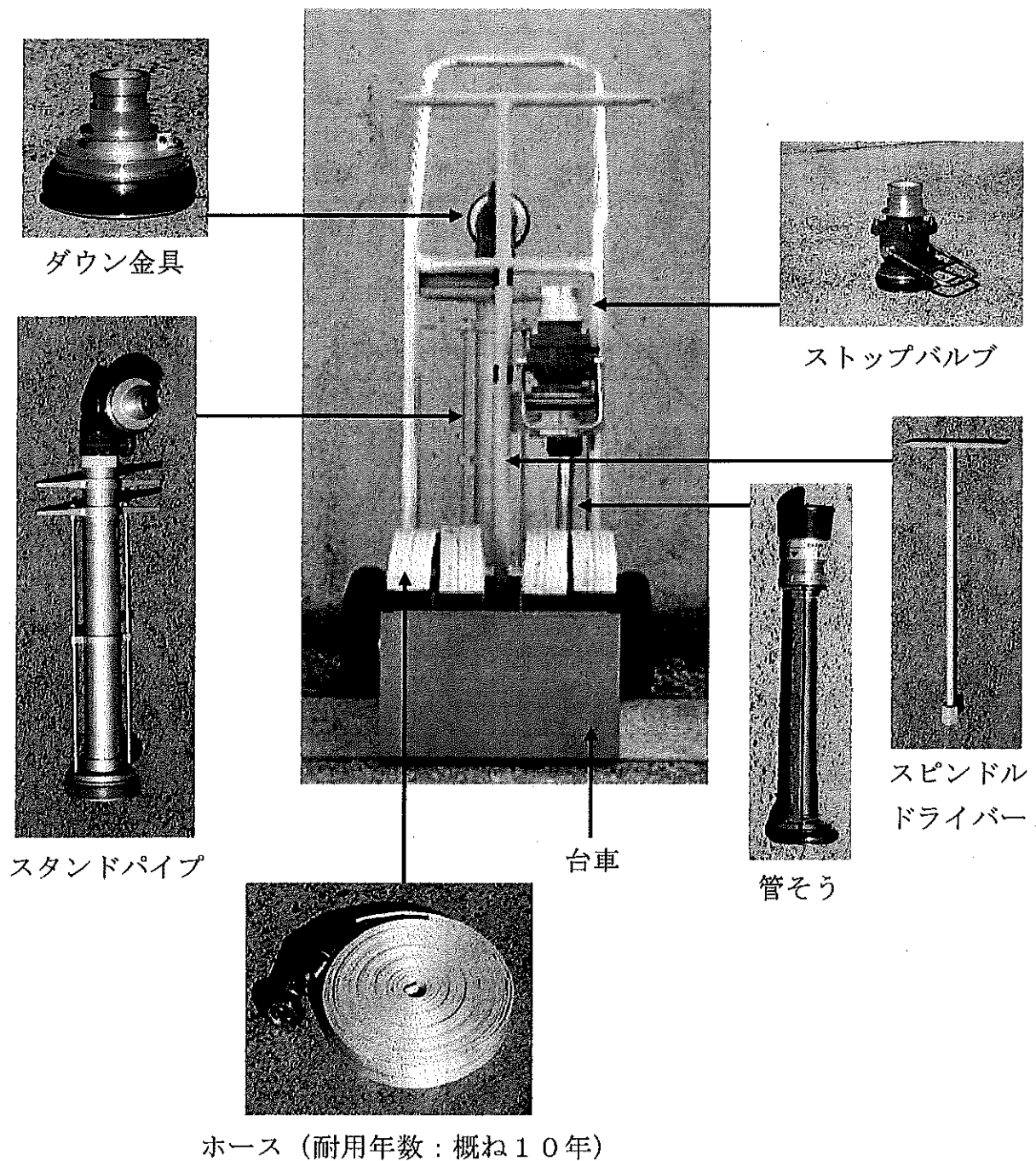
5 スタンドパイプ初期消火資器材について

(1) 構成

ア 概要

スタンドパイプ初期消火資器材は、スタンドパイプを消火栓に差込み、ホースと管そうを結合することで、毎分100リットル以上の放水ができるものである。

イ 概略図



(2) 予算の内訳

区 分	予 算 額 (千円)
スタンドパイプ 初期消火資器材	12,097
模 擬 消 火 栓	1,037
取扱マニュアル作成	300
合 計	13,434

(3) 消火器との性能比較

区 分	スタンドパイプ 初期消火資器材	消 火 器
放 射 能 力	放水量毎分 100L以上	薬剂量 3kg 放射時間 約15秒
放 射 距 離	20m程度	3～6m
必 要 人 数	3～5名	1名
総 重 量	約50kg	約5kg
単 価	約300千円	約6千円

【参考】震災に強いまちづくり方針に掲げる主な木造住宅密集地域

区 分	地 域
北	大 杉 ・ 杉 村
中 村	日 比 津
	中 村
	米 野
瑞 穂	御 劔
	大 喜
中 川	戸 田
	下 之 一 色
南	呼 続
	桜 ・ 笠 寺 ・ 本 星 崎
守 山	鳥 羽 見 ・ 甘 軒 家

6 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣について

区 分	養 成 人 数 (人)	取 付 実 績 (軒)
平成 2 7 年 度	3 0	8 7
平成 2 8 年 度	2 7	1 7 2
合 計	5 7	2 5 9

注 平成 2 8 年 度 は 平 成 2 9 年 1 月 3 1 日 現 在 の 数 値 を 示 す。

7 査察実施状況等について

(1) 行政区別査察実施状況等

平成28年中

区分	査察対象物数	立入検査実施対象物数	立入検査実施率(%)	不備指摘対象物数	違反処理対象物数	
					警告	命令
千種	3,363	855	25.4	224	16	1
東	2,063	642	31.1	135	21	1
北	2,663	848	31.8	191	2	0
西	3,036	671	22.1	197	1	1
中村	3,254	1,055	32.4	189	17	1
中	5,245	1,420	27.1	482	124	0
昭和	2,191	622	28.4	141	7	0
瑞穂	1,906	572	30.0	100	2	0
熱田	1,439	641	44.5	121	3	0
中川	3,787	982	25.9	229	7	1
港	3,017	1,284	42.6	309	9	3
南	2,356	828	35.1	232	6	0
守山	2,645	554	20.9	104	5	1
緑	3,119	804	25.8	175	17	0
名東	3,190	805	25.2	282	30	1
天白	2,890	718	24.8	182	0	0
合計	46,164	13,301	28.8	3,293	267	10

(2) 警告による不備改善状況

平成28年中

区分	警告実施 対象物数	改善済 対象物数	改善率 (%)
千種	16	11	68.8
東	21	9	42.9
北	2	1	50.0
西	1	1	100.0
中村	17	10	58.8
中	124	71	57.3
昭和	7	5	71.4
瑞穂	2	0	0.0
熱田	3	2	66.7
中川	7	1	14.3
港	9	6	66.7
南	6	3	50.0
守山	5	3	60.0
緑	17	9	52.9
名東	30	12	40.0
天白	0	—	—
合計	267	144	53.9

(3) 長期間査察を実施していない防火対象物

平成28.12.31現在

区 分	特定防火対象物	非特定防火対象物	合 計
5年以上 10年未満	406	4,959	5,365
10年以上 15年未満	0	270	270
15年以上	0	317	317
合 計	406	5,546	5,952

注 特定防火対象物とは、百貨店、ホテル等の主として不特定多数の者が出入りする防火対象物をいう。

8 防火管理者の選任状況について

平成28.12.31現在

区 分	対 象 物 数	選任済対象物数	選 任 率 (%)
千 種	1, 7 4 8	1, 6 6 9	9 5 . 5
東	1, 1 9 3	1, 1 3 0	9 4 . 7
北	1, 4 0 1	1, 3 6 9	9 7 . 7
西	1, 3 7 8	1, 2 6 4	9 1 . 7
中 村	1, 7 4 2	1, 6 4 2	9 4 . 3
中	3, 3 6 6	2, 8 0 6	8 3 . 4
昭 和	1, 0 7 5	1, 0 3 4	9 6 . 2
瑞 穂	9 9 4	9 4 5	9 5 . 1
熱 田	7 9 0	7 5 5	9 5 . 6
中 川	1, 6 6 5	1, 5 5 6	9 3 . 5
港	1, 3 4 1	1, 3 0 2	9 7 . 1
南	1, 1 7 8	1, 1 3 4	9 6 . 3
守 山	1, 3 0 7	1, 2 6 3	9 6 . 6
緑	1, 6 4 2	1, 5 3 8	9 3 . 7
名 東	1, 6 3 5	1, 5 1 7	9 2 . 8
天 白	1, 5 5 0	1, 4 9 7	9 6 . 6
全 市	2 4, 0 0 5	2 2, 4 2 1	9 3 . 4

9 防火優良認定及びホテル・旅館等適マークについて

(1) 防火優良認定

平成28.12.31現在

区 分	制度の対象となる 防火対象物数	認定防火対象物数
千 種	160	34
東	90	11
北	100	7
西	98	15
中 村	329	32
中	648	49
昭 和	54	18
瑞 穂	56	7
熱 田	73	10
中 川	122	17
港	113	19
南	81	9
守 山	73	21
緑	90	10
名 東	104	10
天 白	65	9
合 計	2,256	278

注1 制度の対象となる防火対象物とは、特定防火対象物のうち、収容人員が30人以上で一定の要件を満たすものをいう。

2 認定防火対象物とは、防火対象物全体で3年以上継続して消防法令基準の遵守状況が優良なものをいう。

(2) ホテル・旅館等適マーク

平成28.12.31現在

区 分	制度の対象となる 防火対象物数	認定防火対象物数
千 種	18	1
東	11	0
北	6	0
西	7	1
中 村	76	15
中	103	20
昭 和	4	0
瑞 穂	5	0
熱 田	7	0
中 川	5	0
港	9	1
南	9	0
守 山	3	0
緑	14	0
名 東	8	0
天 白	0	0
合 計	285	38

注1 制度の対象となる防火対象物とは、ホテル・旅館等のうち、階数が3以上かつ収容人員が30人以上のものをいう。

2 認定防火対象物とは、消防法令及び建築基準法令の防火の基準に適合するものをいう。

10 火薬類取締法及び高圧ガス保安法の権限移譲について

(1) 法律の概要

ア 火薬類取締法

火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費その他の取扱いを規制することにより、火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保することを目的とする。

イ 高圧ガス保安法

高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制することにより、公共の安全を確保することを目的とする。

(2) 危険物との比較

平成27年度

区 分	施 設 数	申 請 件 数
危 険 物	4, 3 1 4	1, 8 0 3
火 薬 類	1 1 1	8 1
高 圧 ガ ス	3, 9 4 3	2 1 6

注1 施設数は、平成28年3月31日現在の数値である。

2 火薬類と高圧ガスの施設数及び申請件数は、愛知県の保有する情報に基づき本市分を集計したものである。

11 消防隊の出動状況について

区 分		誤 報	自動火災報知設備の 誤 発 報
平成27年	件 数	1, 0 3 6	4 9 2
	隊 数	1, 4 3 2	7 3 8
平成28年	件 数	1, 1 0 9	5 3 9
	隊 数	1, 4 7 6	7 1 1

注 自動火災報知設備の誤発報欄の数値は、誤報欄の数値の内数を示す。

12 救急隊の出動状況等について

(1) 高齢者の搬送状況

区 分	平成 27 年中 (人)	平成 28 年中 (人)
急 病	42,093	42,907
一 般 負 傷	9,533	10,060
転 院 搬 送	4,791	4,841
交 通	1,773	1,844
そ の 他	399	403
合 計	58,589	60,055

注 高齢者とは、満年齢が65歳以上の者をいう。

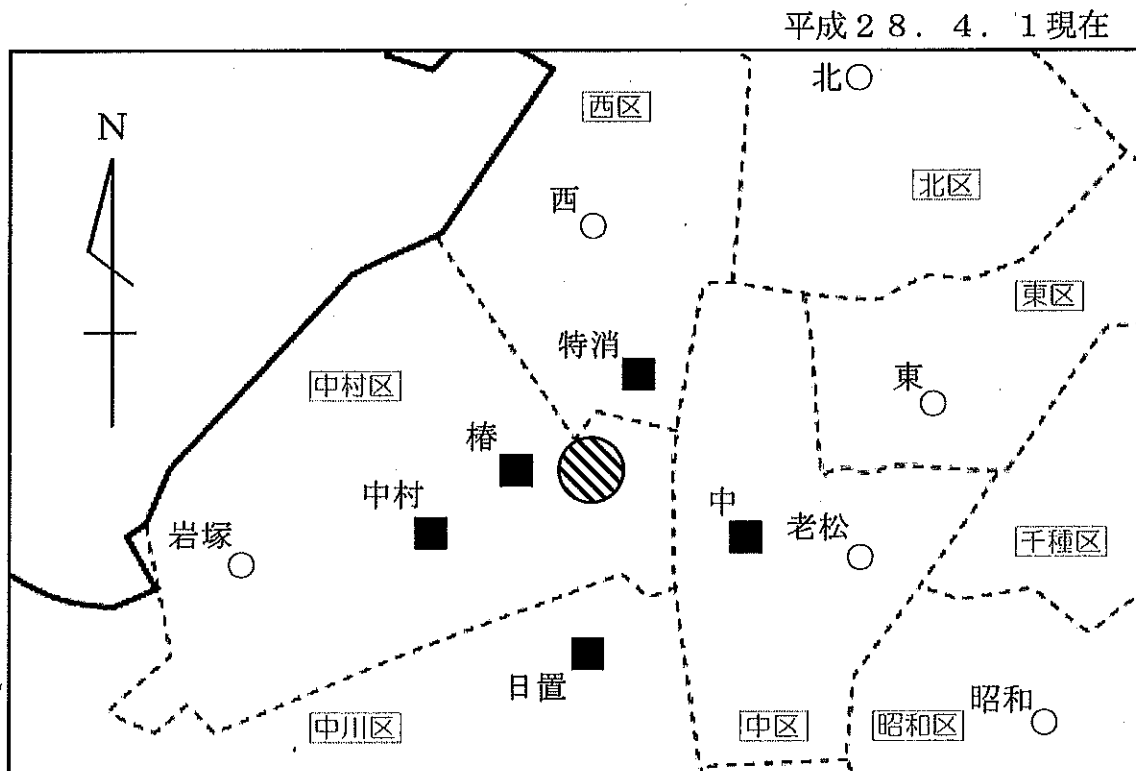
(2) 主な政令指定都市の平均現場到着時間及び平均病院収容時間

平成 28 年中

区 分	平均現場到着時間 (分)	平均病院収容時間 (分)
名 古 屋	6.2	31.2
札 幌	6.7	36.6
京 都	5.1	30.8
堺	6.6	34.1
神 戸	6.8	33.7

13 名古屋駅周辺の救急隊について

(1) 配置状況



- 【凡例】
- : 区境界
 - ⊗ : 名古屋駅
 - : 名古屋駅周辺の救急隊
 - : その他の救急隊

(2) 出動件数

ア 名古屋駅周辺の救急隊

平成28年中

救 急 隊	出 動 件 数
椿	3, 540
特 消	4, 188
中 村	3, 429
中	4, 467
日 置	2, 782

イ 市内救急隊の平均

3, 053件

14 市民によるAEDの使用状況等について

(1) 119番通報受信時の案内件数

区 分	案 内 件 数
平成27年	111
平成28年	305

注 平成27年については、7月から12月までの数値である。

(2) 使用件数等

区 分	使用件数	傷病者が社会復帰に至った件数
平成27年	190	13
平成28年	192	20

15 ヘリコプターについて

(1) 主な性能

区 分	名 古 屋 市		愛 知 県
	のぶなが 〔AS365N3型〕 ドローファン2	ひでよし 〔AS365N3+型〕 ドローファン2	わかしゃち 〔ベル式〕 〔412EP型〕
自 重	2, 832 k g	2, 976 k g	3, 700 k g
全 備 重 量	4, 300 k g		5, 398 k g
最 大 全 長	13. 68 m		17. 1 m
最 大 出 力	1, 560馬力		1, 800馬力
上 昇 限 度	6, 100 m		6, 096 m
最 大 速 度	324 km/h		259 km/h
巡 航 速 度	269 km/h		231 km/h
燃 料 搭 載 量	1, 158 L		1, 251 L
航 続 時 間	3. 7時間		2. 5時間
座 席 数	14座席		15座席
吊り下げ能力	1, 600 k g		2, 041 k g

(2) 主な装備

区分	名古屋市		愛知県
	のぶなが 〔AS365N3型〕 〔ドーフアン2〕	ひでよし 〔AS365N3+型〕 〔ドーフアン2〕	わかしゃち 〔ベル式〕 〔412EP型〕
ホイスト装置 (吊り上げ能力)	272kg	249kg	272kg
消火バケツ容量	543L	453L	910L
消火タンク容量	900L		1,225L
ヘリコプター 映像伝送システム	可視カメラ・赤外線カメラ		可視カメラ

(3) 出動回数

区分		平成27年中	平成28年中
のぶなが	火災	35	37
	救急・救助	19	15
	訓練等	162	138
ひでよし	火災	48	59
	救急・救助	12	23
	訓練等	191	191
合計		467	463

